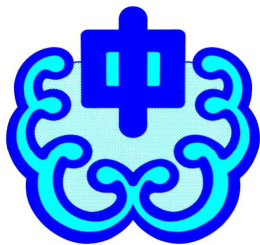


# 浪江中だより

平成30年度 第3号  
2018. 4. 20  
文責 校長 鳴原 俊洋



## 教育目標

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒
- ◇ 自分に自信を持ち、行動できる生徒（今年度重点目標）



## コミュニケーションの第一歩

### ～気持ちのいいあいさつを～



朝、教室を訪問して、「おはようございます」と挨拶をすると、「おはようございます」と生徒達は返してくれます。元気に挨拶してくれる生徒もいれば、中にはちょっと疲れているのかなと思われる生徒もいて様々です。そんなあいさつについて考えてみました。

少し難しい話になりますが、「挨拶（あいさつ）」の語源は、禅宗で問答によって仏法修行の深淺をはかる「一挨拶（いちあいさつ）」にあると言われています。「挨拶」には「押す・背を叩く・心を開いて近づく」、「挨拶」には「押す・迫る」という意味があり、合わせて「そばに身をすり寄せて押し合う」ことを表しています。つまり、「挨拶」は、人と人が出会い、出会った人同士が互いに心を開いて相手に迫っていくために交わす最初の言葉であり、これから始まるコミュニケーションの第一歩なのです。

さて、みなさんは一日にどれだけ、どのような挨拶をしていますか？どんな時でも、気持ちのいいあいさつができる浪中生であってほしいと思います。家庭、学校、地域で、心のキャッチボールとも言われる「あいさつ」を、元気に率先して交わしていきましょう。

## 少人数だからこそ…授業の充実に向けて

今年度の在籍数は2年生1名、3年生3名と、ぐっと減ってしまいました。しかし、毎日の授業では、先生方が一人一人に応じた手立てを考え、工夫を凝らして、個のレベルアップを図っています。

例えば、タブレット等のICT機器を活用して視覚的な理解を促したり、画面を操作して思考を深めたりしています。また、T・T（複数教員による指導）により、一人一人の弱点やつまづきを把握した上で個別指導を展開している教科もあります。



少人数だからこそ「強み」を生かした授業をこれからも継続し、学力向上を図っていききたいと思います。

